

平成27年12月14日

文部科学大臣 馳 浩 様

参議院議員 松沢 成文



宇宙航空研究開発機構（JAXA）相模原キャンパスに関する要望について

先般、地方における「しごと」と「ひと」の好循環を促進することを目的として、政府関係機関の地方移転に関する提案募集が行われました。この対象に、私の地元神奈川県相模原市に立地する「国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）相模原キャンパス」が含まれています。募集の結果、当該機関について、秋田県及び岐阜県から移転の提案があったことは既に周知のところではあります。

同機関が平成元年に立地して以来、市内には関連する高度な技術を持つ企業の集積が進むと同時に、地域産業界と連携した新たな商品開発も展開されてきました。

また、地域住民にとっても大きな誇りであり、「はやぶさの故郷さがみはら」として市民と行政が一丸となって地域の活性化やシティーセールスに取り組んでいます。

私は平成23年までの2期8年間、神奈川県知事を務めました。研究開発機能の集積で全国トップクラスの規模を誇る同県においても、JAXAの存在感は際立っており、日本の科学技術をリードする地域の推進力を失うことに大きな危惧を抱いています。

同時に、宇宙開発については参議院文教科学委員会でも取り上げましたが、限られた予算の中で継続的な研究と成果をあげて行くためには、宇宙政策を後退させてはなりません。圏央道も開通し、予定されるリニア中央新幹線新駅の整備などにより、同市は更なる飛躍が期待されています。こうした首都圏の中でも最も大きなポテンシャルを有する地域に存在することは、有形無形のメリットをもたらします。

こうした観点から、政府におかれましても国策を正しい方向へ導くべく、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）相模原キャンパスにつきましても、現所在地において事業継続していただくよう、強く要望いたします。